

Eizo Workshop presents

POPUP Screen | no.1  
35mm Film Screening



アピチャッポン・ウィーラセタクン  
真昼の不思議な物体  
คอกกวนใจคนลาว



©Kick the Machine Films 提供：アピチャッポン・ウィーラセタクン

ポップアップ・スクリーン no.1

[35ミリフィルム上映会]

アピチャッポン・ウィーラセタクン『真昼の不思議な物体』

2018年9月29日[土] / 30日[日]

[上映時間] 14:00 - 15:30

加賀市立中央図書館 視聴覚ホール

高校生以上 ¥900 | 中学生以下 ¥500

[問い合わせ先] 映像ワークショップ

Email : info@eizo.ws | Tel : 090-9441-9680

EIZO  
WLS

# ポップアップ・スクリーン | no.1 35ミリフィルム上映会

アピチャッポン・ウィーラセタクン『真昼の不思議な物体』

映像ワークショップ主催によるポップアップ・スクリーン・プロジェクトの第一弾。『ブンミおじさんの森』で2010年カンヌ国際映画祭パルムドール(最高賞)に輝いたタイの映画監督にして美術作家でもあるアピチャッポン・ウィーラセタクンの長編初監督作品『真昼の不思議な物体』(2000年)を35ミリフィルムで上映します。

この映画にはあらかじめ用意された脚本がない。撮影隊はタイの国中を北から南へと旅し、出会った人たちに物語の続きを創作してもらう。行商の女性、象使いの少年たち、伝統演劇の劇団員など、さまざまな人々によるリレー形式で「不思議な物体」の物語が即興的に語り継がれ、変容しながら思わぬ方向に進んでいく。

タイ語の原題をあえて直訳すれば『悪魔の手のひらの上のドクファー』となる。ドクファーとは映画が進むうちに物語の主人公とされる女性の名前で、彼女が人々の語りにも翻弄される姿を象徴的に示したタイトルである。

山形国際ドキュメンタリー映画祭優秀賞、バンクーバー国際映画祭特別賞など多数受賞、世界を驚かせた長編初監督作品。

原題: *ดอกฟ้าในมือมาร*

監督: アピチャッポン・ウィーラセタクン

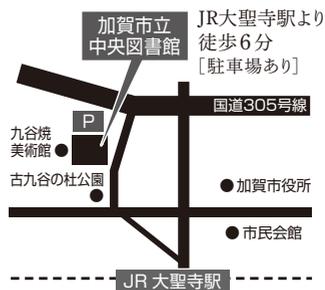
脚本: タイの村人たち

2000年 | タイ | 83分 | モノクロ | 35mm | 日本語字幕版



提供: 山形国際ドキュメンタリー映画祭

2018年9月29日[土] / 30日[日]  
加賀市立中央図書館 視聴覚ホール  
〒922-0861 石川県加賀市大聖寺地方町1-10-4



## Eizo Workshop (映像ワークショップ)

「ポップアップ・スクリーン」をキーワードに、映像にまつわる多様なプロジェクト(上映、ワークショップ、記録、アーカイブ、リサーチなど)をポップ・ポップとあちこちで展開する。2018年3月より石川県加賀市を拠点に活動を開始。明貫紘子(キュレーター/アーキビスト)と木村悟之(アーティスト/映像制作)の共同運営。

HP: <http://www.eizo.ws>

Email: [info@eizo.ws](mailto:info@eizo.ws)

協力: Next Commons Lab 加賀  
みに・キネマ加賀

後援: 金沢シネモンド



## ポップアップ・スクリーン no.1

[関連イベント: ワークショップ]

## 35ミリフィルム 映写ワークショップ

2018年9月28日[金] 15:00-19:00

加賀市立中央図書館 視聴覚ホール

| 参加対象 | 中学生以上

| 参加費 | 無料 (要申込、先着15人まで)

[申し込み方法]

件名を「35ミリWS」とし、参加人数、代表者氏名、連絡先を本文に記入して映像ワークショップ([info@eizo.ws](mailto:info@eizo.ws))へメールを送信。